

第3期 令和4年度～令和13年度(2022年度～2031年度)

# 県立高校将来構想

高校教育の質の確保・向上を図るために



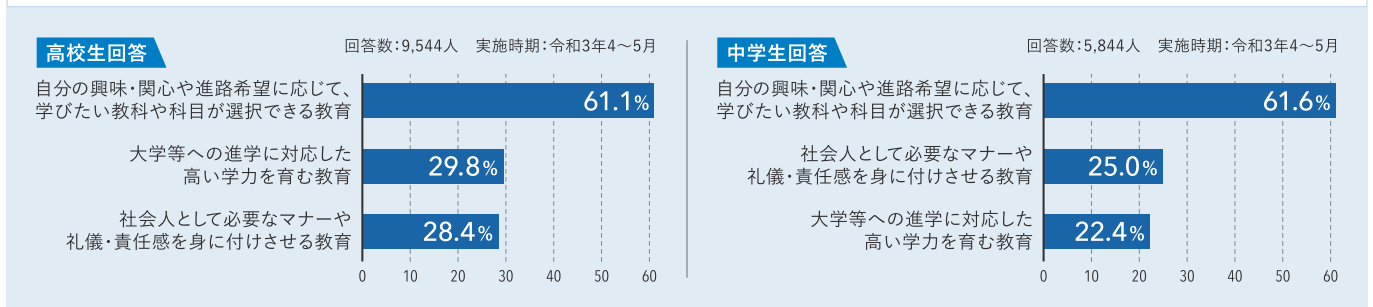
令和4年(2022年)3月  
山口県教育委員会

# 高校教育を巡る現状と課題

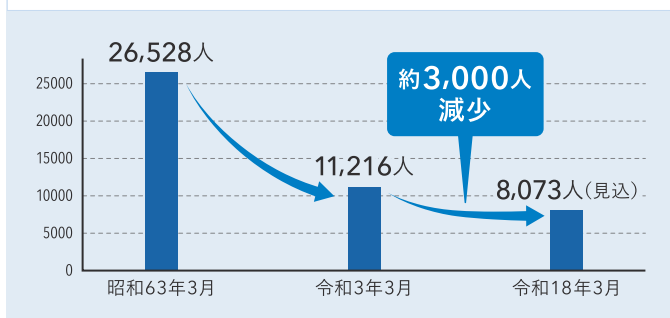
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Society5.0時代の到来</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症の感染拡大</li> <li>● 少子高齢化の進行</li> <li>● 教職員のワーク・ライフ・バランスの実現</li> </ul>
国	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>高等学校学習指導要領(平成30年告示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会に開かれた教育課程の実現</li> <li>● カリキュラム・マネジメントの推進</li> <li>● 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</li> </ul> </div> <div> <p>中央教育審議会答申(令和3年1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和の日本型学校教育 個別最適な学び、協働的な学びの実現</li> </ul> </div> </div>
山口県	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口減少の克服</li> <li>● 地方創生の実現</li> <li>● 地域・社会を担う人材の育成</li> </ul>

## 資料で見る山口県の高校教育

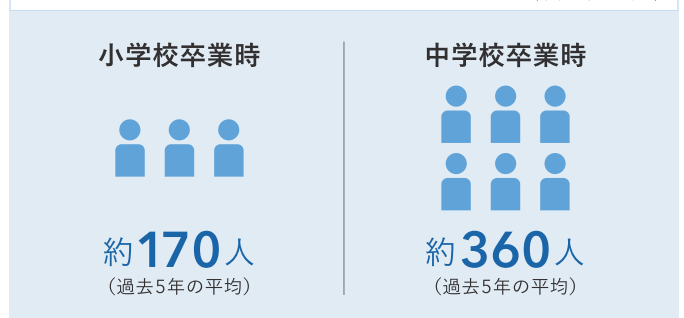
### 子どもたちのニーズの多様化 - 高校教育にどのようなことを望みますか? -



### 中学校卒業生数の減少



### 県外への進学等



## 第3期県立高校将来構想の策定趣旨

今後も中学校卒業生数の継続的かつ急激な減少が見込まれるとともに、教育を取り巻く環境が大きく変化することが予想されることなどから、中・長期的な視点に立って本県高校教育の質の確保・向上を図る必要があります。

そのため、「第2期県立高校将来構想」(平成27年策定)の終期(令和6年度末)を待たずに、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備等を主な内容とする「第3期県立高校将来構想」を策定しました。

# 県立高校将来構想の推進

県教委では、本県高校改革の基本的な考え方や施策展開の方向性を示した上で、着実に高校改革の推進に取り組むこととし、高校教育の質の確保・向上に努めてきました。

平成17年(2005年)3月

## 県立高校将来構想

特色ある  
学校づくり

学校・学科の  
再編整備

平成27年(2015年)3月

## 第2期県立高校将来構想

### 成果

- 全日制普通科の通学区域全県化
- 探究科の導入
- 多部制定時制高校の設置
- 全ての県立高校にコミュニティ・スクールを導入
- 学校規模の拡大
  - ▶ 生徒のニーズへの対応、選択幅の広い教育の推進、学校行事・部活動の活発化

### 課題

- 望ましい学校規模(1学年4~8学級)にある学校数
 

平成27年度	51校中 <b>35</b> 校(68.6%)	] 微増にとどまる
令和3年度	46校中 <b>32</b> 校(69.6%)	
- 入学者数が募集定員に満たない学校が存在

#### 1学年の1校当たりの平均募集学級数

	山口県(全国順位)	全国平均
平成27年度	<b>4.14</b> 学級(43位)	<b>5.61</b> 学級
令和3年度	<b>4.33</b> 学級(36位)	<b>5.23</b> 学級

令和4年(2022年)3月

## 第3期県立高校将来構想

### 主な内容

- めざすべき県立高校像
- 教育活動・教育環境の充実
- 特色ある学校づくり
- 学校・学科の再編整備

### 高校教育の質の確保・向上

- 選択幅の広い教育の推進
- 活力ある教育活動の展開
- 生徒が他者と協働しながら切磋琢磨する環境づくり

# 県立高校のめざす方向

複雑化・多様化する課題に的確に対応するとともに、学校と家庭・地域とが相互の連携・協働を図り、地域・社会と一体となって生徒の成長を支援することが期待されているため、次の方向で学校づくりを全県的に推進していきます。

1  
高い志をもち、  
主体的に未来を  
切り拓いていく人材を  
育成する学校

2  
人とのつながり、  
支え合いを大切に  
する心を育む安心・  
安全な学校

3  
郷土に誇りと愛着を  
もち、地域・社会に  
貢献しようとする人材  
を育成する学校

## 教育活動の充実

1 確かな学力を  
育成する教育の充実

2 豊かな心を育む  
教育の充実

3 健やかな体を育む  
教育の充実

4 進路実現に向けた  
教育の充実

5 生徒指導、  
相談・支援の充実

6 地域連携教育の充実

7 ICTを活用した  
教育の推進

8 グローバル人材や  
イノベーションを担う  
人材の育成

9 高校における  
特別支援教育の充実

## 教育環境の充実

1 安心・安全な  
学校づくり

2 施設・設備の整備

3 教職員の  
資質・能力の向上

4 学校における  
働き方改革の推進

5 修学支援の充実

構想の全体版はこちら▶ [山口県 第3期県立高校将来構想](#)

お問い合わせ先▶ 山口県教育庁高校教育課高校改革推進班 〒753-8501 山口市滝町1-1 Tel:083-933-4636



高校教育課  
ウェブサイト

# 特色ある学校づくり

生徒の知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成をめざし、各学科の特色を生かした教育活動を拠点的に推進する学校を県内にバランスよく配置することで、特色ある学校づくりを全県的に推進していきます。

## 特色ある学校づくりの全県的な推進

### 全日制課程の方向性

普通科系の 学科	<ul style="list-style-type: none"><li>● 教科等横断的な視点を踏まえた教育課程の充実</li><li>● ICTを活用した国内外の大学・高校等との連携・協働による探究活動</li><li>● 探究科の拡充</li><li>● 普通科の改革(普通教育を主とする学科の弾力化) など</li></ul>
専門学科	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実社会で役立つ資格取得の推進</li><li>● 教科等横断的な課題解決型学習の充実</li><li>● 学校・学科等の枠を越えた探究的な教育活動の推進</li><li>● 地域・社会や地元企業等と連携・協働した実践的・体験的な教育活動の充実 など</li></ul>
総合学科	<ul style="list-style-type: none"><li>● 生徒の興味・関心や進路希望に応じた教育活動の充実</li><li>● 様々な分野の知識や技能を融合させた教育活動の充実 など</li></ul>

### 定時制・通信制課程の方向性

	<ul style="list-style-type: none"><li>● 生徒の多様な生活スタイルや学習ニーズに応える教育の充実</li><li>● 定時制課程と通信制課程との連携</li><li>● 通信制課程における平日の学習支援の在り方について検討 など</li></ul>
--	---

### 中高一貫教育の推進

	<ul style="list-style-type: none"><li>● 小学校、大学、地元企業等と連携・協働した探究活動の充実</li><li>● 幅広い年齢層の生徒同士による教育活動の充実</li><li>● 進学指導に重点を置いた中高一貫教育校の配置の検討 など</li></ul>
--	---

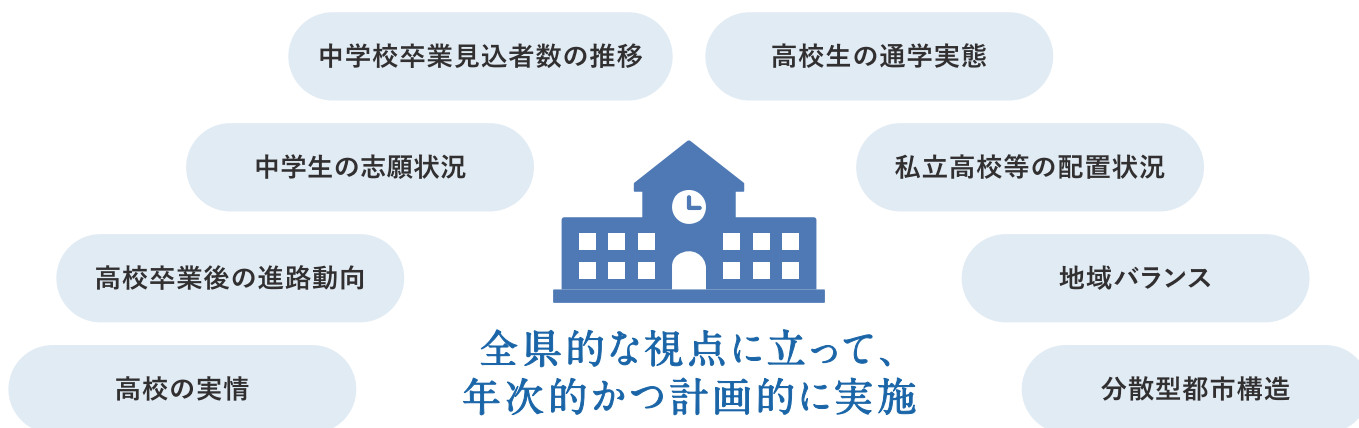
# 学校・学科の再編整備

教育を取り巻く環境が大きく変化していることから、新しい時代に対応した学校づくりが求められています。こうした中、今後、中学校卒業生数の継続的な減少による学校の小規模化の更なる進行が見込まれることから、高校教育の質の確保・向上を図るためには、一定の学校規模の確保をめざした再編整備を進める必要があります。

## 一定の学校規模の確保をめざした再編整備

- 望ましい学級規模：1学年4～8学級（1学級当たりの生徒数は原則40人）

### 再編整備の基本方針



1

全日制課程の1学年3学級以下の学校の再編統合を基本として、他の学校との再編統合により、望ましい学校規模を確保

2

再編統合が困難な場合には募集停止についても検討し、その際、学校の近接性や学習内容等を考慮しながら、他の学校に教育機能を継承することを検討

3

全日制課程を置く分校については、地元中学校卒業生の入学状況や、今後の入学見込者数を勘案した上で、募集停止を検討

4

再編整備の実施に当たっては、高校教育の質の確保・向上を図る観点や地理的条件、交通事情による生徒の教育への影響等を、総合的に勘案しながら検討

### 再編整備の方向性

- 生徒のニーズ、高校卒業後の学科別の進路状況、本県の産業構造や地域バランス等を踏まえた学校・学科の適切な配置や適正な定員設定
- 教科等横断的な学びや他者と協働した探究活動の充実など、学科間連携による教育活動を推進する学校を配置
- 大学等への進学に重点を置く取組や高度な専門性をもった産業人材を育成する取組の充実などを推進するための拠点的な役割をもつ学校を、分散型都市構造にある本県の特性も考慮してバランスよく配置